

令和3年1月13日

ふたば未来学園関係各位

ふたば未来学園中学校・高等学校長

### 学校における感染拡大防止対策の徹底について

日頃より、本校の教育活動に御理解、御協力を賜り誠にありがとうございます。

さて、昨日知事より県内の感染状況が「ステージⅢ」相当であるとされたことから、福島県教育委員会から「学校の行動基準における対応を“レベル2”に引き上げる」旨通知がございました。また、あわせて国・県から「学校においては、地域の感染状況を踏まえ、学習活動を工夫しながら、可能な限り、学校行事や部活動等も含めた学校教育活動を継続し、子供の健やかな学びを保障」しながら感染症対策を徹底するよう通知がございました。

この通知に従い、本校において下記のように感染拡大防止対策を徹底して教育活動を継続して参ります。御家庭におかれましても、下記の点を御確認いただき、引き続き御協力をお願いいたします。

また、今後感染状況の変化により対応が変わる場合は、おってお知らせします。

### 記

#### 1 学校の行動基準について

本県の感染状況を踏まえた学校の行動基準における対応を「レベル2」に引き上げる。

#### 2 対象期間

令和3年1月13日（水）から同年2月7日（日）まで

※ 終了期日が変更となる際は、改めてお知らせします。

#### 3 対象期間における対応

##### (1) 各種学習活動について

リスクの高い学習活動については、停止する。具体的には下記の対応を行う。

○ 「対面形式となるグループワーク等」の集団活動は、時間を短縮し距離をとりながら実施。  
下記については国のガイドラインで特に留意が必要とされていることから停止。

- ・ 演劇を含む「近距離で一斉に大きな声で話す活動」
- ・ 音楽における「室内で生徒が近距離で行う合唱及び管楽器演奏」
- ・ 家庭、技術・家庭における「生徒同士が近距離で活動する調理実習」
- ・ 体育における「生徒が密集する運動」や「近距離で組み合ったり接触したりする運動」

○ 近隣へのフィールドワークや、近隣からの講師招へいについては、感染防止対策を徹底した上で実施。その際、「学習活動における校外との協働学習（講師招聘、フィールドワーク等）の再開について（令和2年6月29日）」でお知らせした、書面での健康状態や2週間以内の行動履歴の確認を徹底。

○ 他県も含む生活圏外へのフィールドワークや、生活圏外からの講師招へいについては停止。

##### (2) 緊急事態宣言対象地域への不要不急の往来

不要不急の往来を自粛。進路活動や全国大会等やむを得ない事情により対象地域へ往来する場合は、往来後2週間の健康観察を徹底。なお、対象には今後追加される地域も含む。

##### (3) 宿泊を伴う学校行事、合宿、遠征等

宿泊を伴う活動は停止。ただし、全国大会、東北大会及び県大会等での宿泊は可能とするが、

対象地域の感染状況を踏まえ管理職が慎重に判断。

(4) 部活動における感染症対策

感染リスクの高い活動を除いて実施。なお、活動前後に生徒同士で食事をする事は禁止し、他校との練習試合や合同練習会は停止。

(5) 寮における感染症対策

食堂や浴室への入室人数制限、食堂入室時の消毒、密を避ける対策等を引き続き徹底。なお、冬期休業中の帰省や進路活動等のやむを得ない事情で緊急事態宣言対象地域と往来した生徒については特に健康観察を徹底し、食堂へのアクリルパネルの設置等、食事や入浴時に他の生徒と濃厚な接触を行わないよう留意。

(6) 給食・昼食時の対応

飛沫を飛ばさないよう、対面での喫食や大声での会話をしながらの食事を控えるよう徹底し、食事後の歓談時には必ずマスクを着用する。

(7) 基本的な感染症対策の徹底

毎日の健康観察や、手洗い、マスク着用、消毒、抵抗力を高める健康管理等を引き続き徹底するとともに、3つの密を回避し換気等を徹底。

以上

(問い合わせ先 教頭 0240-23-6825)

(参考)

「学校における新型コロナウイルス感染症に関する衛生管理マニュアル (2020.12.3 Ver.5)」抜粋。

レベル1～3のいずれの地域に該当するかは、地域のまん延状況や医療提供体制等の状況を踏まえ県が判断。

「新しい生活様式」を踏まえた学校の行動基準

地域の感染レベル	身体的距離の確保	感染リスクの高い 教科活動	部活動 (自由意思の活動)
レベル3	できるだけ2m程度 (最低1m)	行わない	個人や少人数での 感染リスクの低い活動 で短時間での活動に 限定
レベル2	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	感染リスク の低い活動 から徐々に 実施 <small>収束局面</small>	感染リスクの低い活動 から徐々に実施し、教 師等が活動状況の確 認を徹底 <small>拡大局面</small>
レベル1	1mを目安に 学級内で最大限の 間隔を取ること	適切な感染対策を行った 上で実施	十分な感染対策を行 った上で実施

(参考) 地域の感染レベルと分科会提言による分類の対照

地域の感染レベル	新型コロナウイルス感染症分科会提言における分類	
レベル3	ステージ IV	爆発的な感染拡大及び深刻な医療提供体制の機能不全を避けるための対応が必要な段階
レベル2	ステージ III	感染者の急増及び医療提供体制における大きな支障の発生を避けるための対応が必要な段階
	ステージ II	感染者の漸増及び医療提供体制への負荷が蓄積する段階
レベル1	ステージ I	感染者の散発的発生及び医療提供体制に特段の支障がない段階